

平成27年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	青き誇りプロジェクト
事業主体 (連絡先)	泥百笑
事業区分	(3) 教育、文化の復興に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	419,892 円 (うち支援金: 314,000 円)

事業内容

平成青木時報を5号発行し、村内全戸に配布し、公共施設やコンビニ店などにも置かせていただいた。

9月に神楽殿サウンドフェスを宮淵神社で開催し、多くの方が集い、文化財である神楽殿を活用した。

2月に青木未来会議を開催。講師を呼び、青木村の手書き地図ワークショップを行なった。



【青木未来会議の様子】

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ① 各事業に参加した若者は誇りを持つことができた。
- ② 村指定の文化財、宮淵神社神楽殿にて音楽イベントを行ない、老若男女多くの方が集い、交流しイベントを楽しむことができた。
- ③ 平成青木時報の発刊により、村に情報や活動している方の情報を、村内外に発信することができた。
- ④ 青木未来会議にて、手書き地図ワークショップを行ない、住んでいても知らなかった情報などを書き込んでもらえて、新たな魅力を知り参加者と交流することができた。

- 【目標・ねらい】
- ① 若者が村の誇りを持つ
 - ② 文化財を活用し、交流をする
 - ③ 村の情報を発信する
 - ④ 村の魅力を考え意見を出し合う

※自己評価【B】

【理由】
各事業を通し、情報発信、文化財の活用、交流といった成果が得ることができたため。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

今後は元気づくり支援金に頼らず、平成青木時報の発刊などの事業を継続することにより、より多くの効果を目指していきたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
 「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた
 「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある